

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：和歌山市立城東中学校

授業の概要

授業日時・学年・教科・単元名等

授業日時：平成25年 6 月 14 日 5時間目

学 年： 1年 教科： 英語

単元名： Unit3 はじめましてブラウン先生

ICT支援員によるサポート 授業中 事前

単元・題材の目標

- ・一般動詞を使った肯定文、否定文、疑問文の構造を理解する。
- ・自分が関心のある事柄についての情報を含めた簡単な自己紹介ができる。
- ・簡単なインタビューをしたり、それに答えたりできる。

単元全体の流れ

指導内容	配当時間
○一般動詞の肯定文 I like[play]...の文の形・意味・用法を理解する。 ○一般動詞を使って英語で簡単な自己紹介を書く。	1時間
○一般動詞の疑問文 Do you...?の文とその応答の形・意味・用法を理解する。 ○ペアで簡単なインタビューをする。	2時間
○一般動詞の否定文 I do not...の文の形・意味・用法を理解する。 ○否定文を使ってインタビューの練習をする。	1時間
○クラスみんなにインタビューする質問を考えアンケートを作成し、その結果を英語で表現する。	2時間
○一般動詞の文について復習する。	1時間 (本時)

本時の中心となる授業形態

 一斉学習 個別学習 協働学習

本時の目標（評価の観点）

- ・Unit3の教科書の会話文を音読できる。

情報通信技術の活用

活用した場面

 導入 展開 まとめ その他（ ）

活用した者

 教員 生徒

活用する目的

- 課題の提示 動機付け 興味・関心の創出 目的や目当ての明確化
- 教員の説明 生徒による説明
- 繰り返しによる定着 典型例の提示 創作活動
- 失敗例の振り返り 体験の想起 体験の代行 比較
- 振り返り 生徒同士の教え合い その他（発音練習）

活用したコンテンツ

デジタル教科書生徒用

活用した機器		
<input checked="" type="checkbox"/> IWB	<input checked="" type="checkbox"/> タブレットPC	<input type="checkbox"/> 実物投影機
<input type="checkbox"/> その他 ()		

※情報通信技術の活用のうち、本時におけるポイントとなる活用について主なものを回答すること。

1. 本時の展開

学習の流れと子どもの活動	指導・支援のポイント	使用した機器やコンテンツ
1. 課題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">Unit3を全部言えるようになろう（レベルアップをしよう）</div>		
2. ペアで教科書の会話文を音読し、どのくらい音読出来るか今の自分の力を確認する。	時間を決めて時間内にできるかどうか生徒に自己チェックさせる。	
3. デジタル教科書で個人練習をする。	マスク機能や速度設定などを使い難易度を調整しながら自分のレベルに合わせて練習するように促す。	デジタル教科書 生徒用
4. ペアで再度会話文を音読し、レベルアップできるようにチャレンジする。		
5. 本時の目標が達成できたか振り返る。	できるようになったことを振り返りながら生徒に達成感・満足感を感じさせる。	

<協働学習の実施状況>

- 生徒が相互に教え合う場面があった 数名が一緒に学び合う場面があった
- 数名が協力したり助け合ったりする場面があった 数名が話し合う場面があった
- 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった
- 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった
- ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

(1) 活用のねらい

デジタル教科書生徒用 ・生徒一人ひとりがそれぞれのわからない箇所をじっくり確認し、理解し、音読練習すること ・生徒一人ひとりのレベルに合わせた学習をさせること。
--

(2) 活用により期待される効果

- ・生徒がそれぞれ自分の苦手な単語や英文の発音を何度も聞き、練習することができる。
- ・デジタル教科書教師用で学習するだけではわかりにくいリズム・音調などを確かめながら個人練習することができる。

3. 実践上の課題 c

- ・今回音声をじっくり聞けるようにイヤフォンを使い練習させたが、イヤフォンをして個別練習すると、生徒の音読の声小さく、どのくらい練習できているか理解できているかを評価するのが難しい。

※本報告は、2頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、Webでの公開など広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。